

町の秋の風物詩にちなんだネーミングで事業再開 ～『富岡えびすこ市・場』～

【 福島県大玉村玉井字横堀平地区 】

名 称 : 富岡さくらの郷 えびすこ市・場
所 在 地 : 福島県安達郡大玉村玉井字横堀平158番10
種 別 : 仮設店舗
延床面積 : 102㎡
入 居 者 : 食品小売業等(避難元:富岡町)
区 画 数 : 3区画
建物構造 : 軽量鉄骨造1階建て1棟
事業開始 : 平成23年12月26日
完 成 : 平成24年4月13日
供用開始 : 平成24年4月13日

福島県富岡町は福島第一原子力発電所の事故の影響により、全町域が警戒区域に指定されたことから、全町民が他市町村へ避難することを余儀なくされている。

大玉村に避難している富岡町の仮設住宅住民の利便性向上のために、商工会員が中心となって仮設店舗整備を中小機構に要望した。

店舗は被災した小売業等を営む商工会員6社が設立した「合同会社富岡さくらの郷」が運営しており、店舗名は富岡町で毎年11月に開かれていた「えびす講市」にちなんで付けられている。

仮設住宅が山間部にあるため周辺には店舗等も少なく、仮設住宅住民の買い物の場としてだけでなく、憩いの場としても活用されている。

